

表4 - 1 . プロジェクトの推進主体とスケジュール

基本的な方向性1 . 「かつしか」の魅力の再評価と創出

プロジェクト	具体的な内容
1 - 1 . 「かつしか」のイメージの把握と活用	
・「かつしか」に関するイメージ調査の実施	区内の公共施設や集客施設、観光関連ホームページ等において、区への来訪者や一般区民を対象とする「かつしかのイメージ調査」を定期的の実施します。その結果は区報およびホームページ上で公表するとともに、区内の観光関連組織において施策に反映させます。
・暮らしやすいまちづくりの推進による「かつしか」イメージの向上	都心からのアクセス条件の良さや、下町を感じさせるまちなみと人の温かさ等、区民にとっての暮らしやすさと「かつしか」らしさを重視したまちづくりを推進することで、「かつしか」イメージの向上を図ります。
・民間事業者が主体となった「かつしか」イメージの活用	区内の集客力のある地域において、「かつしか」のイメージや葛飾区への来訪者層を主な対象とした商品PRイベントを開催する等、民間事業者が主体となって「かつしか」イメージを活用します。
1 - 2 . 既存観光資源の新たな手法による活用	
・葛飾区の自然・歴史文化の奥深さを踏まえた「かつしか」の魅力の新たな活用	すでに親しまれている自然資源や歴史的文化的資源に関する情報発信に継続して取り組むとともに、新たな視点・手法での活用策を、地元の幅広い主体を巻き込んで推進します。
・来訪者の満足度を高める新たな取り組みの推進	柴又や堀切、水元公園等、すでに多くの来訪者が訪れている地域において、さらにその数を増やし満足度を高めるために、快適な空間整備や新たな時間の過ごし方の提供、回遊性を高め滞在時間を延ばす等の取り組みを推進します。
・全国区の知名度を持つキャラクター活用の検討	「寅さん」「両さん」といった全国的な知名度を持つ映画や漫画の舞台となった柴又・亀有地域において、これらのキャラクターを活用した空間整備のあり方やソフトの提供について具体的な検討を行います。
・伝統産業製品の地元商店・飲食店等での積極的な利用・PR	葛飾区の伝統産業製品の魅力を来訪者に伝え購入につなげるために、商店や飲食店等での利用促進や展示・販売、ものづくりの現場の見学会等によって、その魅力を発信します。
・区有施設のさらなる活用	博物館やホール等の区有施設において、展示会やコンサート等の開催に合わせて、そのテーマに合致する地域資源(例:季節の花や寺社等)を訪れるミニツアーを同時開催したり、区民の文化活動の成果発表の場として開放すること等によって、地域に賑わいを創出します。また、区内・近隣区の文化施設が連携して、新たなイベントや共通サービスの実施にも取り組みます。

プロジェクト	具体的な内容
1 - 3 . 新たな魅力の創出	
・ 商店街での新たな楽しみ方の創出と空間の活用	商店街での食べ歩き情報の発信や、表通りから一本裏へ入った路地裏の散策、アーケード街でのミニコンサートの開催、ベンチの設置、空き店舗の活用等、若者など新たな人材の受け入れも検討しつつ、商店街での新しい楽しみ方を提供するサービスやイベント、空間整備を推進します。
・ 河川を活かした魅力の創出	堤防上から河川敷、水辺から水面まで、河川の周辺空間について、「川をみる」「川岸でつどう」「川にふれる」「川で移動する」といった多様な視点で魅力創出のための整備のあり方を検討します。
・ 新たな魅力発掘への継続的な取り組み	区民の日常生活に関わりの深い銭湯や庶民的な飲食店、夜景、歴史的な建築物やかつて行われていた祭事等、現在は観光資源として顕在化していない身近な事柄を、観光振興の視点から新たな資源とする取り組みを継続的に行います。
・ 「葛飾ブランド」の形成・活用	区内の地場産業製品が、消費者に選ばれる「葛飾名物」としての魅力を持ち続けるために、品質向上と品質管理、ものづくりを担う人材の育成、情報発信等に取り組みます。こうした産業製品の品質向上とともに、これらを生産し提供する場や作り手の顔が見えるようにしていくことで、葛飾区全体の地域イメージを高めて「葛飾ブランド」を生み出し、それを活用していきます。
・ 未活用空間等の活用検討	現在、必ずしも活用が進んでいない一定規模以上の土地や施設について、観光振興の観点から、地元地域への新たな賑わいや経済波及効果を創出するための活用策を検討します。

基本的な方向性2. 身近で回遊性の高い「かつしか」の実現






プロジェクト	具体的な内容
2 - 1. 主となるターゲットの明確化	
・観光動態調査の実施による来訪者像の把握	葛飾区の観光動向を長期的かつ正確に把握するために、定期的な観光動態調査の実施や来訪者のニーズを日常的に把握する仕組みづくり等、観光統計の充実と継続的な来訪者像の把握に取り組みます。
・観光動態調査を踏まえた地域別施策の推進	観光動態調査によって把握された来訪者に関するデータを活かし、各地域において、空間整備やソフト施策、区民を主体とする受け入れ態勢の充実等の施策を推進します。
・主に児童・生徒を対象とした、新しい体験を伴うプログラムの開発	地場産業への理解と後継者の発掘を視野に入れ、区外からの修学旅行や社会科見学、区内の中学・高校生の職場体験の場等として受け入れを進めるために、近郊農業の体験やものづくりの製造・販売に関する見学・体験等を内容とするプログラムを開発します。
・外国人に対して発信する情報の精査と発信手段の整備	外国人来訪者に最も強く共感される「かつしか」の魅力のテーマ・内容を、発地国ごとにきめ細かく明らかにするとともに、効果的な発信手段(基本言語、媒体、情報提供の場所等)の検討と整備に取り組みます。
2 - 2. 回遊性を高める周遊ルートの開発	
・既存の集客地域から周辺へ来訪者を回遊させる仕組みづくり	柴又や亀有駅前、水元公園、各種レクリエーション活動の場等、現在多くの来訪者を迎えている地域において、その周辺地域の情報の発信や、周辺部にまたがって一定期間イベントを開催すること(イベント・リンク)等、区内に広く回遊性を生み出す仕組みづくりを行います。
・「かつしか」ならではのテーマ性・物語性のある周遊ルートの開発	区内の観光資源を、「かつしか」の魅力を体感できる個性的なテーマでつなぎ、所要時間(数時間、終日等)や来訪頻度別(毎年1回、四季折々、人生の節目等)等、多様な来訪スタイルに対応できる周遊ルートとして開発します。
・観光資源を結ぶアクセス手段とその魅力の向上	バス会社やタクシー会社との連携等によって、区内の観光資源や鉄道の駅等の間をスムーズに、かつ楽しく移動することができる交通手段を整備します。
・回遊ルートに配慮した駐車場や案内板の整備	区民の生活空間と来訪者を迎えるエリアとの棲み分けや動線の整理を行うとともに、観光動態調査等を踏まえて、来訪者の回遊性を高め、かつわかりやすい駐車場や案内板の整備を行います。

プロジェクト	具体的な内容
2 - 3 . 気軽に何度も訪れたくなる環境整備と情報発信	
・めぐって楽しい魅力的な道づくり・景観づくり	花の植栽や灯りによる夜道の演出、健康づくりにつながるウォーキングやサイクリング用のルート形成、一体的な整備が好ましい地域における家並みの統一の整備等、めぐって楽しい魅力的な道づくり・景観づくりを行います。
・観光施設におけるハード・ソフト面のユニバーサルデザイン化	高齢者や障害者、外国人など、あらゆる人々が安全に楽しい時間を過ごすことができるように、段差の解消等のハード面の整備とともに、「かつしか」の魅力を十分に伝えられるソフト面の整備にも取り組みます。
・四季それぞれの魅力の発信	季節を変えて何度も来訪を促すために、花の開花や寺社の祭事、地元につながる歳時記、旬の食の魅力等、四季それぞれの魅力をタイムリーに発信します。花の開花状況であればインターネットを通じてリアルタイムに情報発信するなど、観光資源別に効果的な媒体を活用します。
・効果的な情報発信の推進	情報発信を総括的に行う組織を強化して「かつしか」の魅力情報を常に収集・整理し、イベントカレンダーの作成やホームページの活用等によって、適時に適切な媒体へ情報発信を行います。また、既存の方法に留まらず、新しい情報発信手法の開発にも取り組みます。

推進主体 注1)					取り組み期間 注2)			プロジェクト
葛飾区	観光関連組織	民間事業者	区民	区外	前期	中期	後期	
1 - 1. 「かつしか」のイメージの把握と活用								
								・「かつしか」に関するイメージ調査の実施
								・暮らしやすいまちづくりの推進による「かつしか」イメージの向上
								・民間事業者が主体となった「かつしか」イメージの活用
1 - 2. 既存観光資源の新たな手法による活用								
								・葛飾区の自然・歴史文化の奥深さを踏まえた「かつしか」の魅力の新たな活用
								・来訪者の満足度を高める新たな取り組みの推進
								・全国区の知名度を持つキャラクター活用の検討
								・伝統産業製品の地元商店・飲食店等での積極的な利用・PR
								・区有施設のさらなる活用

注1) 推進主体のイメージ: 「葛飾区」産業経済課・商工振興課等の観光関連部署、まちづくり関連部署、教育・福祉関連部署等、「観光関連組織」観光協会、商工会議所、商店街連合会等、「民間事業者」観光施設・飲食物販施設・交通事業者等、区内の民間企業等、「区民」一般区民・町内会・市民活動グループ・まちづくりNPO等、「区外」東京都・区等の自治体・交通事業者・旅行会社・専門家等。 関与度のイメージ: > > >

注2) 取り組み期間のイメージ: 「前期」平成19～22年(4年間)、「中期」22～25年(4年間)、「後期」25年～

推進主体					取り組み期間			プロジェクト
葛飾区	観光関連組織	民間事業者	区民	区外	前期	中期	後期	
1 - 3 . 新たな魅力の創出								
								. 商店街での新たな楽しみ方の創出と空間の活用
								. 河川を活かした魅力の創出
								. 新たな魅力発掘への継続的な取り組み
								. 「葛飾ブランド」の形成・活用
								. 未活用空間等の活用検討

推進主体					取り組み期間			プロジェクト
葛飾区	観光関連組織	民間事業者	区民	区外	前期	中期	後期	

2 - 1 . 主となるターゲットの明確化





								・観光動態調査の実施による来訪者像の把握
								・観光動態調査を踏まえた地域別施策の推進
								・主に児童・生徒を対象とした、新しい体験を伴うプログラムの開発
								・外国人に対して発信する情報の精査と発信手段の整備

2 - 2 . 回遊性を高める周遊ルートの開発

								・既存の集客地域から周辺へ来訪者を回遊させる仕組みづくり
								・「かつしか」ならではのテーマ性・物語性のある周遊ルートの開発
								・観光資源を結ぶアクセス手段とその魅力の向上
								・回遊ルートに配慮した駐車場や案内板の整備

推進主体					取り組み期間			プロジェクト
葛飾区	観光関連組織	民間事業者	区民	区外	前期	中期	後期	

2 - 3 . 気軽に何度も訪れたくなる環境整備と情報発信

								・めぐって楽しい魅力的な道づくり・景観づくり
								・観光施設におけるハード・ソフト面のユニバーサルデザイン化
				・				・四季それぞれの魅力の発信
				・				・効果的な情報発信の推進

基本的な方向性3.「かつしか」区民とともに取り組む受け入れ態勢の整備

プロジェクト	具体的な内容
--------	--------

3 - 1. 区民が主体となった「観光まちづくり」の推進

区民に対する葛飾区の観光振興施策に関する広報活動の推進	葛飾区が観光振興に一層取り組むにあたって、「かつしか観光」の将来目標像の内容や、各地域の魅力向上のために地元区民に期待する役割等に関して、区民への広報活動を推進し、「観光まちづくり」への参画を促します。
区民による区内観光の実践	区民自身が日常的に地元地域や葛飾区内で楽しい時間を過ごしたくなるように、そしてそのことが、区外からの来訪者へ「かつしか」の魅力を自然に伝えることにもつながるように、観光関連組織から区民に対して、身近な文化財や観光資源に関する情報発信を強化します。また、区民が主体となって企画するイベントの開催を検討します。
区民の生涯教育・文化的活動とともに進める魅力発見と情報発信	学校教育の場や郷土史研究会等において、「かつしか」の魅力を発見する活動や調査研究活動等を、広く区民の参加を募って積極的に進め、その成果を区内外に発信します。
区民による観光資源の保全・育成の仕組みづくりの検討	公園や桜並木、寺社の庭といった安らぎの空間を、自分たちのものとして常日頃、愛情を込めて手入れする仕組みづくりを検討します。また、身近にある水と緑に親しみながら、その環境を保全・育成する意識を高めます。

3 - 2. 観光関連産業に関わる人材の育成

区内における観光振興策の成功事例の把握と人材のネットワーク構築	区内における観光振興・地域活性化の成功事例を集約し、葛飾区と観光関連組織、民間事業者等の現場で取り組む人や組織同士をネットワーク化し互いに交流することで、知恵の共有と観光施策への反映を図ります。
生涯学習の視点を加味した地域ボランティアガイドの育成	正確な知識と人を惹きつける話術を備えたボランティアガイドの育成によって、来訪者の「かつしか」に対する理解を高めます。ガイドの育成にあたっては、ガイドとなる区民自身の成長と生きがいづくりにも寄与する仕組みのあり方を検討します。
「かつしか」の魅力を創造し今後を担う人材の育成	花菖蒲の栽培者や伝統産業の職人、商店街の後継者等、区内において「かつしか」の魅力を創造して来訪者に提供し、そしてその技術や生業を次世代へと伝える若い人材の発掘・育成に取り組みます。

プロジェクト	具体的な内容
3 - 3 . 区内外の観光関連組織、近隣エリアとの連携	
区内の観光関連組織の役割分担の明確化と「かつしか観光プラン」の着実な推進	区内の観光関連組織がそれぞれに担う役割を明確にし、葛飾区観光協会を中心に相互に連絡・調整を図りながら、観光プランに盛り込まれたプロジェクトを着実に推進します。
区外の観光関連組織との定期的な情報・意見交換の場の設置	(財)東京観光財団や葛飾区内に営業網を持つ鉄道会社・バス会社、旅行会社、マスコミ等と定期的に情報・意見交換を行う場を設置し、旅行商品の造成等について連携をさらに強化します。
近隣区とともに推進する広域観光ルートの開発と情報発信	「江東5区」の他の構成区(墨田区・江東区・足立区・江戸川区)や台東区とともに、新東京タワーや"下町の空間・イメージ"等をテーマに、連携して広域観光ルートを開発し、情報発信に取り組みます。

推進主体					取り組み期間			プロジェクト
葛飾区	観光関連組織	民間事業者	区民	区外	前期	中期	後期	

3 - 1 . 区民が主体となった「観光まちづくり」の推進




								・区民に対する葛飾区の観光振興施策に関する広報活動の推進
								・区民による区内観光の実践
								・区民の生涯教育・文化的活動とともに進める魅力発見と情報発信
								・区民による観光資源の保全・育成の仕組みづくりの検討

3 - 2 . 観光関連産業に関わる人材の育成

								・区内における観光振興策の成功事例の把握と人材のネットワーク構築
								・生涯学習の視点を加味した地域ボランティアガイドの育成
								・「かつしか」の魅力を創造し今後を担う人材の育成

推進主体					取り組み期間			プロジェクト
葛飾区	観光関連組織	民間事業者	区民	区外	前期	中期	後期	

3 - 3 . 区内外の観光関連組織、近隣エリアとの連携

								・区内の観光関連組織の役割分担の明確化と「かつしか観光プラン」の着実な推進
								・区外の観光関連組織との定期的な情報・意見交換の場の設置
								・近隣区とともに推進する広域観光ルートの開発と情報発信